

東京キリスト教学園

ボランティアセンター活動報告 No.6



2013年1月24日(木)
発行：TCUボランティアセンター

■お祈りを感謝いたします

ボランティアセンターは秋・冬学期、2チームを被災地に派遣しました。10/26~30に3.11岩手教会ネットワークを通じて岩手県宮古市へ、12/25~29に日本改革派教会 東仙台教会主催の子どもキャンプに学生を派遣しました。皆さまのお祈りと支えに感謝し、活動の報告を致します。

■東仙台教会主催小学生キャンプ@蔵王とだ屋



夏に引き続き、4名の学生を東仙台教会主催の小学生キャンプに派遣しました。津波で壊滅的な被害を受けた宮城県の野蒜地区にある野蒜小学校の子供たちを対象として、宮城県蔵王にある、とだ屋という民宿で2泊3日のキャンプを行いました。子供たちが60人弱集まり、夏以来の再会を喜びました。蔵王の山で雪遊びをし、おいしいご飯を食べ、賛美し、露天風呂を楽しみ、普段は小さな仮設で生活をしている子どもたちが、羽を広げて元気いっばいに過ごしている姿がとても印象的でした。TCU生はお部屋係、レク、夜の集会での特別賛美&ダンス、メッセージの奉仕をさせていただきました。「むねあかどり」の手作り紙芝居とスキットを通し、一人一人の存在が神さまにとって尊いこと、イエスさまの元に行くことで暗くさびしい心が温かくされるというお話をしました。夏キャンプ以来、大ブレイクした踊り付きの賛美"もっともっと"は子どもたちの中でも大人気であり、学校でも休み時間に皆でよ



く踊っていると喜んで伝えてくれました。中心となっている東仙台教会は、津波で壊滅的被害を受けた東松島市にある野蒜小学校を対象として毎シーズン、キャンプを行っています。また春休みに行われる予定なので、引き続き学生を派遣することを考えています。

■宮古コミュニティーチャーチ

今年の夏期伝道で岩手県宮古市に派遣されたメンバーが、そこで出会った人たちと再会を約束していたため、秋休みを利用して同じ場所でボランティアをしてきました。仮設住宅でカフェを開き、その中で30分ほどのコンサートを持ちました。クリスマスチャンが作る温かい空気から「教会カフェ」と呼ばれ、この地域の仮設住宅ではとても楽しみにされているものです。メンバーはこのカフェでコンサートを開きました。ここでは「北国の春」「川の流れるように」等、住民の方に親しみのある歌から「慈しみ深さ」「アメイジンググレイス」等の賛美まで歌いました。涙を流し、川の流れるようにや慈しみ深さを聞いてくださる方もおられ、歌(賛美歌)の持つ力に驚かされました。



前回お会いした方々との再会を望んでボランティアに出かけましたが、新たな出会いも与えられました。現地の責任を持っておられる岩塚先生がボランティアに先立ちオリエンテーションをしてくださり、継続支援を通して福音が広がっている様子を教えてくださいました。そのお話を実際にこの目で見、体験できたことはとても貴重な経験でありました。

■募金報告(1月24日現在)

現時点での募金の残額は、¥401,493となっております。これからも継続してボランティアセンターの働きをしていくために、さらなる募金を必要としています。ぜひご協力をお願い致します。

■ボランティアセンターリーダーズについて

2012年度学園ボランティアセンターリーダーズ(山本圭介、竹内誠、平塚治樹、菊池結希)は任期を終え、新しいメンバーにバトンタッチをしました。新リーダーズは、豊島集司、伊能悠貴、鈴木美津子、西岡牧葉です。新しい1年もよろしくお祈り致します。